

飼料用とうもろこしの品種選定について

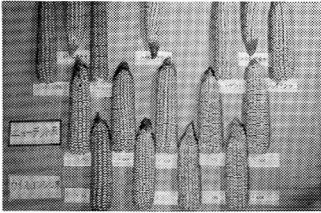
山下 太郎

ハイゲンワセ、ホクユウ (北交22号)

雪印種苗は ニューデント系 (85日 105日、110日、115日、120日) をおすすめします

ウイスコンシン系 (95日 110日、115日、120日)

本年度、道内で流通した主な品種は写真1のとおりです



●この中でハイデント、ジャイアンツは明春より販売中止の予定です(府県での採種が中止)

●ウイスコンシン系は古くから酪農家の皆様より最も愛用されてきた品種ですが、採種状況がやや不安定で、加えてパイオニア系と並んで病害に弱い傾向が認められ、新しい品種が望まれておりました。

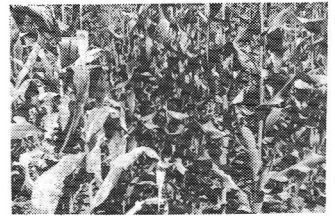
●ニューデント系はそれ等の欠点を補い然も収量性が高いことを目標に雪印種苗(株)札幌研究農場で導入選抜を続けている優良品種群です。外国採種に当たっても毎年担当者を派遣し、特性維持、能力向上に万全を期しております。

ニューデント系の特性

●ニューデント系は相対熟度 (R.M.) で、85日 105日、110日、115日、120日と5品種をようし、更に国内産極早生奨励品種(ハイゲンワセ) 国内産早生奨励品種(ホクユウ)を加えると、ニューデント系で全道を完全に網羅することができます。

●ニューデント系は倒伏に強く、葉の病害(スモモン病、ゴマ葉枯れ病)に強く、穀実収量および栄養収量にすぐれています。(下記試験成績参照)

●尚、道央、道南のゴマ葉枯れ病多発生地域では特に耐病性の強いニューデント115日(×188)をおすすめします。



右側がニューデント115日(×188)葉病害に対して免疫に近い耐病性をしめしている

ニューデント系を中心とした地帯別サイレージ用適品種の選定基準

ハイゲンワセ	早生の早	根室、天北	西紋西部、天塩、釧路
ニューデント 85日	早生		
ホクユウ	早生		十勝山麓、沿海(上川北部)
ニューデント 105日	早生の晩		(十勝平原)
ニューデント 110日	中生の早		道央、日胆、上川、北見
ニューデント 115日	中生		道南
ニューデント 120日	晩生の早		空知の一部

中・晩生品種の品種比較試験成績(昭和49年)

(北農試一札幌)

品 種 (系統)	絹糸抽出期		収穫日	熟度	倒伏(%)			生 総収量	比 率	乾 物 収 量			栄 養 収 量	
	月日	月日			倒伏	折損	計			kg	kg	kg	kg	kg
ウイスコンシン 110日(W 573)	8.14	9.27	黄熟	22	6	28	544	100	60	134	100	95	100	
ニューデント 110日(× 162)	17	9.30	"	4	3	7	582	107	77	154	115	110	116	
パイオニア中性 (P 3715)	16	"	"	10	11	21	582	107	74	145	109	105	111	
ウイスコンシン 115日(W 654)	16	"	"	5	2	7	530	98	73	140	105	101	107	
ニューデント 115日(× 188)	19	10.2	糊熟	20	1	21	644	119	71	155	116	109	115	
ウイスコンシン 120日(W 673)	17	9.30	"	22	22	44	609	112	65	142	106	100	106	
ニューデント 120日(× 202)	21	10.2	"	15	3	18	760	140	69	164	123	114	120	
パイオニア晩生 (P 3431)	20	"	"	11	6	17	630	116	70	158	118	111	117	
ジャイアンツ	20	"	"	42	15	67	657	121	78	161	121	115	121	

備考 ①栽植密度は694本/a ②施肥量標準(12:16:9.6)の1.5倍 ③収量はa当り ④倒伏は30%以上傾斜したもの ⑤TDN計算式(新得方式) TDN=無水茎葉重×0.582+無水雌穂重×0.850